

沼田市水道料金あり方検討委員会会議録（概要版）

会議名	第3回沼田市水道料金あり方検討委員会
日 時	令和6年7月25日（木）午後1時30分～4時00分
場 所	テラス沼田4階 防災会議室401
出席委員 （敬称略）	米本委員長、青地副委員長、井熊委員、伊藤委員、久保委員、近藤委員
市	武井都市建設部長、関上下水道経営課長、小野上下水道整備課長 本間経営係長、直江副主査、生方主任 オリジナル設計（株）酒井氏、石川氏
会議 次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （1） 料金改定の基本方針 （2） シミュレーション（基本パターン確認） 4 その他 5 閉会

概要	1 開会 2 あいさつ ・ 委員長 ・ 都市建設部長 3 議題 （１）料金改定の基本方針 ・ 事務局から現在の本市の水道事業について、老朽化に伴う施設の維持、更新や人口減少による料金収入の減少など厳しい経営状況にあることから、持続可能な経営を行うため、料金改定は不可欠であり、全国的な水準に見合った料金体系に見直しする方針としたい旨、説明を行った。 （２）シミュレーション（基本パターン確認） ・ 日本水道協会が策定した「水道料金算定要領」及び「沼田市水道事業経営戦略」に則って作成した水道料金体系（シミュレーション用の基本パターン）を基準に口径別や使用水量毎の料金等について試算した資料を提示し、説明を行った。 【委員からの意見】 ・ 能登半島地震により、国が耐震化等工事の補助施策を考えているようだ。活用を検討し、少しでも料金の値上げ幅を抑えるべきである。 ・ 介護施設などの水道料金が上がった場合、結果的に施設利用料が上がるなどの影響も考えられる。 ・ 使用者の大半を占める口径 13mm などの一般家庭使用者の増加率が高くないよう配慮すべきである。 ・ 企業誘致など、沼田市の施策を加味した料金体系となっているのか。 ・ 水道料金が多少高くなっても、将来的に施設の持続可能な料金体系を構築してほしい。 ・ 一般家庭を想定した料金パターンが必要。また、現行での口径毎の使用戸数が分かるようにしてほしい。 ・ 小口径利用者に配慮し、かつ、大口径使用者に過度の負担とならない調整例を提示してほしい。 4 その他 ・ 事務局から次回委員会の開催日等の連絡を行った。 5 閉会
----	--